

掲載日:令和7年1月30日

技術職員(常勤)の募集について

埼玉大学研究機構総合技術支援センターでは、技術職員(物質・生命科学系)を募集しています。募集内容は次のとおりです。

【募集内容】

| | |
|---------|---|
| 職務内容 | (雇入れ直後) 教育・研究活動に対する支援に関すること (変更の範囲) 変更なし |
| 職名 | 技術職員(常勤) |
| 所属部門・領域 | 研究機構総合技術支援センター(物質・生命科学系) |
| 担当業務 | <p>埼玉大学総合技術支援センターに所属し、埼玉大学における各種分析業務等を担う科学分析支援センターの業務を主に担当する。職務内容は以下のとおりである。</p> <p>(1) 科学分析支援センターが保有する共用分析機器(主にX線回折装置、熱分析装置、分光分析装置など)の維持・管理 (2) 液体窒素供給施設、実験動物飼育室などの教育・研究支援施設の維持・管理 (3) 学内外からの依頼分析に関する業務 (4) 薬品管理システムおよび設備予約システムの維持・管理 (5) 学内排水分析や実験系廃棄物回収に関する業務 (6) 科学分析支援センターの運営・広報 (7) 総合技術支援センターが所掌するその他の業務</p> <p>【補足】 総合技術支援センターでは、埼玉大学における教育・研究・大学運営の充実及び高度化、教育・研究活動に係る基盤の整備及び強化を専門的・技術的に支援するため、その業務をプロジェクト単位で構成・管理しており、所属する技術職員はプロジェクトのメンバーとして業務を遂行しております。</p> <p>本公募では、主に本学の科学分析支援センターを支援するプロジェクトに参加し、職務内容(1)～(6)に従事する方を募集します。また、学内のニーズによっては、総合技術支援センターが所掌する他の業務(職務内容(7))に従事していただくこともあります。</p> <p>専門的知識・技術を活かした業務が中心となりますが、知識や経験が乏しい業務に従事する場合は、業務に必要な研修への参加等、スキルアップについて、総合技術支援センターが組織的に支援します。</p> <p>なお、業務においては、英語での対応が必要となる場合があります。</p> |
| 募集人員 | 1名 |
| 応募資格 | <ul style="list-style-type: none">大学院修士課程を修了あるいは令和7年3月までに大学院を修了見込み、または、これと同程度以上の知識と経験をお持ちの方が望ましい。職務内容(補足を含む)をご理解いただいた上で、自ら積極的にスキルアップを図ることができ、本学の今後の発展に寄与する意欲と熱意をお持ちの方。 |
| 雇用期間 | ・期間の定め:無(着任時期:令和7年6月1日以降のできるだけ早い時期) |
| 試用期間 | 採用の日から3ヶ月間 |
| 勤務時間 | 国立大学法人埼玉大学教職員の労働時間、休暇等に関する規則による。 ・労働時間:8:30～17:15(休憩時間 12:15～13:15) ・年次休暇及びその他の休暇制度あり |
| 勤務地 | (雇入れ直後)埼玉大学大久保キャンパス (変更の範囲)変更なし |
| 休日等 | 土・日曜日及び祝日(授業日数確保のための勤務日を除く)、祝日勤務の振替日 年末年始(12/28～1/3) |

| | |
|--------------------|--|
| 給 与 | 「国立大学法人埼玉大学教職員給与規則」を適用 ・初任給 参考例(学歴・職歴に応じてこれより高く決定される場合もあります) 学歴等 初任給(地域手当を含む) 博士課程修了 326,952 円 修士課程修了 298,566 円 大卒後 3 年の実務経験 298,566 円 大卒後 2 年の実務経験 291,726 円 |
| 諸 手 当 等 | ・通勤手当 ※通勤手当は実費相当分を全額支給(上限あり、通勤距離が 2km 未満の場合は不支給) ※月の初日に就業していない場合は当月のみ通勤手当支給無し(翌月からの支給) ・期末手当、勤勉手当 ・その他、住宅、扶養手当等あり(支給要件該当者のみ) |
| 加入保険等 | 文部科学省共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険 |
| 雇 用 者 | 国立大学法人埼玉大学長 |
| 受 動 喫 煙 防 止 措 置 | 敷地内禁煙(屋外に喫煙所あり) |
| 募 集 期 間 | 令和 7 年 3 月 28 日(金)まで(ただし、適任者が決まり次第締め切ります。) |
| 提 出 書 類 | ① 履歴書(市販様式、自筆、写真貼付、E-mail) ② 職務経歴書(実務経験を有する方のみ、様式や長さは任意) ③ 自己アピール文と今後の抱負(様式は任意、A4 用紙 1 枚以内) 大学の研究室や教育研究機関等で学び身に付けた知識や技術、もし実務経験があればその経験を通して身に付けた知識や技術、その他自己アピールできる事柄(得意な分野や装置など)について記載してください。現在、興味がある技術分野や今後に習得したい技能も記載してください。さらに、採用された場合に、総合技術支援センターや関連学科にどのように寄与したいと考えているか、今後の抱負について記載してください。適切な補足資料(執筆した論文・著作物、製作物に関する資料、表彰状、報道記事等)がある場合には添付してください。コピーで差し支えありません。 ④ 照会可能な方(最終学歴の指導教員など)の連絡先(氏名、所属、住所、電話番号、E-mail) 応募者をよく知っている方に応募者の適性に関して照会をする場合があります。 ⑤ 外国為替及び外国貿易法第 25 条第 1 項及び第 2 項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書 ※本学教職員採用情報のページよりダウンロードできます。 https://www.saitama-u.ac.jp/guide/recruit/ ※応募書類は、簡易書留で郵送してください。その際に、封筒の表に朱書きで「技術職員(物質・生命科学系)応募書類在中」と明記してください。 ※ 応募書類は、原則として返却しません。 |
| 書類提出期限 | 令和 7 年 3 月 28 日(金)必着 (上欄の応募書類を簡易書留にて郵送) |
| 選 考 方 法 | 書類選考(第一次審査)及び面接(第二次審査) (第一次審査合格者には、面接日時等を担当者から連絡します。面接は 1 月中に行う予定です。) ※ 面接のための交通費・宿泊費等必要経費は、応募者負担とします。 |

<書類提出先>

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255

埼玉大学大学 研究推進・国際連携課

総務担当 日吉・田沼 宛

<問い合わせ先>

埼玉大学大学院 理工学研究科 教授

金子 裕良(総合技術支援センター長)

E-mail: office@tsd.saitama-u.ac.jp